



龍ヶ崎市議会議員 情熱が政治を変える！

討議資料

「坂本りゅうじ」市政レポート VOL.7

ホームページ <http://sakamoto1.web.fc2.com> 内 **ブログ** にて活動報告中

坂本りゅうじの活動報告をお届けします。第2回定例議会で行いました一般質問や委員会活動について、どのような議論が行われていたのか等。また龍ヶ崎市の課題や問題をご報告いたします。今後も議員として市民の皆さまへ、わかりやすい言葉で議員活動報告を行っていきます。そして市政への苦情・提言がございましたら、何でも相談して下さい。

龍ヶ崎市議員定数2名削減(24名→22名へ)



第2回定例会で、私たち(政新クラブ+公明党)が提案した「議員定数削減」の議案が賛成多数で可決されました。現在の景気低迷により市民の皆さんが苦しんでいる事を踏まえ、私たち議員から議員定数削減の提案をさせて頂きました。右の写真のように毎月龍ヶ崎市の執行部と意見交換や勉強会を実施している中、政新クラブ内で多くの議論を重ねてきました。そして以前市民団体から陳情として寄せられた意見も集約して出た結果が「現在の定数24名から22名に削減」をする事となりました。選挙前にパフォーマンスのように提案するのが通例でしたが、私たちは意見が集約できたのだから早く議案として提出し、他の議員の皆さんにも協力してもらい可決しました。 **詳細内容は裏面**

つくば市竜巻被害募金活動

右の写真はつくば市竜巻被害の募金活動中の様子です。震災直後から現地に入り状況を把握し、被災者の皆さんに今何が必要なのか、今後必要になるものは何なのかを確認してきました。現場は混乱し不安でいっぱいでしたが、つくば市の迅速な対応や私たちボランティアの支援で少しずつですが復興が進んできました。そんな時に募金活動をしている場面です。私の隣は小泉進次郎議員です。議員も忙しい中、募金活動に参加して頂きました。募金活動中思ったのは、大人だけではなく学生の方も多く募金してくれたように思います。本当にありがとうございました。募金は一時的な支援です。本当の支援はこれからの政策にあり、政治家の情熱が重要です。



下町の通学路に信号機設置



茨城県内の信号機は年間40基しか付きません。貴重な1基を下町に設置して頂きました。

龍ヶ崎市の花(桔梗)



何故?どうして? 議員定数を22名にしたの???

◎議員定数削減の22名にした理由について◎

私たち政新クラブは、毎月一回勉強会や執行部との意見交換会を行い、龍ヶ崎市政を身近に調査研究しています。昨年度は震災後の対応で、保育園の存続や放射能の除染作業等について話し合ってきました。そして、議員報酬の削減を継続するのかわからないのか、また議員定数を削減するのかわからないのかも毎回のように議論を重ねてきました。今回クラブ内で議論の結果、定数を22名にすることが決定しました。その背景には、現在の日本の景気低迷により市民の皆さんもご苦労され、市役所職員も給料カットされています。当市議会でも自ら定数を削減し、これから迎える更に厳しい時代への準備をしたいと考えたからです。そして今回私たちから提案させて頂いた基には、平成22年5月に行われました議員定数削減の公聴会での意見も議案に反映しています。この内容は、当時26名の議員定数を22名にするとする一般市民からの陳情内容でした。「議員定数削減を求める市民の会」が1510名「市政みんなの会」が3252名の署名を集め市議会に陳情したのです。結果は24名になっています。これには、廻りの市町村の状況や、時代背景を考慮し、段階的な削減がよいと判断したものと推察いたします。他にも定数削減の基になる資料があります。私が調べたところによると平成20年の資料ですが、全国市議会議長会の市議會議員定数に関する調査結果も参考資料として調べました。当時の議員定数の上限は、龍ヶ崎市約8万人の都市では、30名と定めていました。全国的に龍ヶ崎市と同規模の市は266市あり、定数の内訳で一番多い定数は24名で53市、2番目が上限30名の51市、3番目が22名で41市です。現在では市町村合併があり、数値は変動していると思いますが、参考資料の一つになっています。現在の24名が全国的に見ても平均的な定数だったのですが、私たちは市民の陳情内容、時代背景、全国のデータ、学識経験者の論文を基に龍ヶ崎市議會議員の定数は22名が妥当な人数だと決定しました。近隣の市町村が〇〇人だから・・・という理由ではありません。



龍ヶ崎市(8万人都市)上限定数30名						H20年資料
30名	28名	26名	24名	22名	20名	・・・計
51市	18市	23市	53市	41市	28市	266市

「坂本りゅうじ」の見解

私が調べた全国の議員定数ですが、未だ定数上限の30名の定数にしている市が266市の中で51市(全体の19%)もあったのがビックリですよね。今の時代には合っていないような・・・。しかし昨年この上限値が撤廃されたのです。この内容は、議員定数は地方に任せるという意味なのです。議員は市民の代弁者です。何人が適正なのかは各市町村で現在も調査研究されていて、難しい問題なのです・・・。私が出した結論は定数22名です。しかし、今後更に龍ヶ崎市民の人口の減少や景気低迷による税収の低下等が続くようなことがあれば、報酬・定数の削減を再度考えなければなりません。私はマイナスな事を考えるよりも、人口を増やすための政策(常磐線新龍ヶ崎駅・佐貫駅周辺の人が住みやすい再開発)や工業団地の拡張(環境型リサイクルプラント)等を立案し前に前に進めていきたいと考えています。市民の皆さんも大変苦労されている時代だからこそ私たち議員も更なる努力が必要です。定数が減ったことにより市民の意見が市政に届かない事が無いように努力していきます。やはり地道な活動が必要ですね。(^^)



◎議員定数削減の提案時期について◎

私たちの意見として各種のデータを基に24名の定数を22名に定数削減することを決定した後ですが、やはり議案提出時期の問題がありました。市民の皆さんに解りやすいようにするならば、市民が少しでも興味のある時期、選挙前の定例議会で定数削減をするのが一般的です。しかし私たちは、「そんな時代ではない、今は時の流れが早い、先に何が起こるか分からないので早々に提出した方がいい」と考え、選挙用のアピールではなく、早速議案を提出することにしました。他の議員も提案理由を理解され、賛同してくれるだろうという思いの基に一般的には早い時期ではありましたが、議員からの提案で、龍ヶ崎市議會議員の定数削減を議案として提出しました。

「坂本りゅうじ」の見解

選挙前になると選挙のアピールとして、定数削減や議員報酬削減を言い出す議員がいます。それは龍ヶ崎市だけではなく。厳しい選挙を勝ち抜くための手段として、よくある事です。私は初めての選挙で議員定数や報酬に触れた事はありません。政策や行動力で勝負したかったからです。そして今回の議員定数削減をした事を評価されるのではなく、時代背景を感じ取り、未来を創造し、行動に移せる議員が評価される市議会にしていきたいですね。龍ヶ崎市議会は他の市町村議会より進んでいますし、新人議員も積極的に発言しています。これからも市長や執行部と協議しながら10年後の20年後の龍ヶ崎市を見据えて行動していきます。 **「情熱が政治を変える」熱い心が大事です。**

